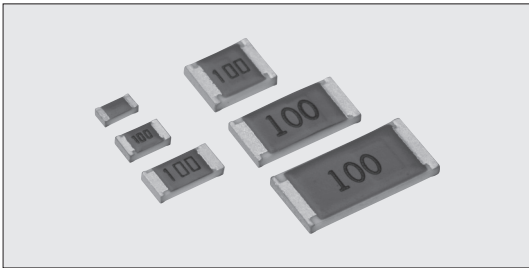
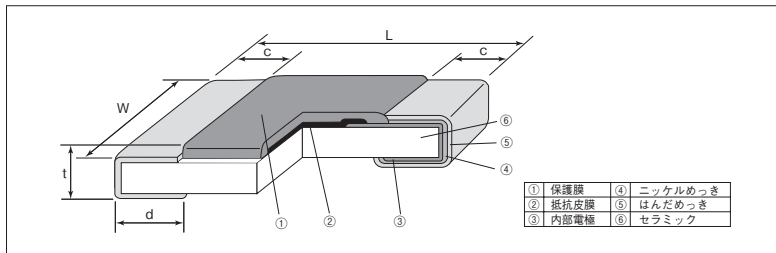


RF73 ■ 角形チップヒューズ抵抗器



外装色：茶

■構造図



■特長

- 通常使用時には抵抗器として機能し、異常時には速やかに溶断して回路の破壊を防止します。
- RK73シリーズと同一形状です。
- UL1412の安全規格認定品です。(1Jは未認定)
- リフロー、フローはんだ付けに対応します。
- 端子鉛フリー品は、欧州RoHS対応です。電極、抵抗、ガラスに含まれる鉛ガラスは欧州RoHSの適用除外です。

■外形寸法

形名 (mmサイズコード)	寸法 (mm)					質量 (g) (1000pcs)
	L±0.2	W	c	d	t±0.1	
1J(1608)	1.6	0.8±0.1	0.3±0.1	0.3±0.1	0.5	2.14
2A(2012)	2.0	1.25±0.1	0.4±0.2	0.3 ^{±0.2}		4.54
2B(3216)	3.2	1.6±0.2	0.5±0.3	0.4 ^{±0.2}	0.6	9.14
2E(3225)		2.6±0.2				15.5
2H(5025)	5.0	2.5±0.2	3.1±0.2			24.3
3A(6432)	6.3	3.1±0.2				37.1

■認定規格

RF73 2A, 2B, 2E, 2H, 3A :
UL1412 File No.E117262

■参考規格

IEC 60115-8
JIS C 5201-8
EIAJ RC-2124

■品名構成

例

RF73	2B	T	TD	100	J
品 種	定格電力	端子表面材質	二次加工	公称抵抗値	抵抗値許容差
	1J:0.063W 2A:0.1W 2B:0.125W 2E:0.25W 2H:0.5W 3A:1.0W	T: Sn (L: Sn/Pb)	TD: 紙テープ (4mmピッチ) TE: エンボステープ (4mmピッチ) BK: バルク	3桁	J: ±5%

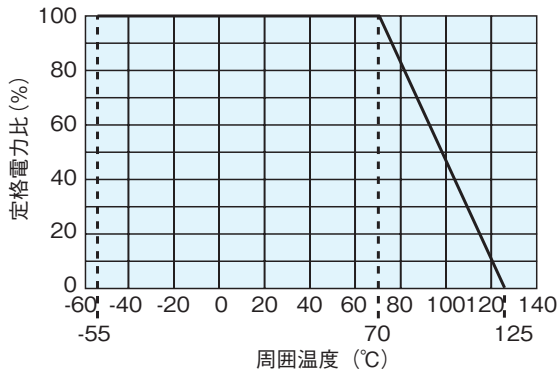
端子表面材質は鉛フリーめっき品が標準となります。
環境負荷物質含有についてEU-RoHS以外の物質に対するご要求がある場合にはお問合せください。
テーピングの詳細については巻末のAPPENDIX Cを参照してください。

■定格

形 名	定格電力	抵抗値範囲 (Ω) E24	抵抗値 許容差	溶断特性					抵抗温度 係数 (×10 ⁻⁶ /K)	テーピングと 包装数/リール (pcs)						
				溶断電力 抵抗値範囲						溶断時間	TD	TE				
				3.0W 0.2~0.47Ω	2.6W 0.51~1.0Ω	2.4W 1.1~20Ω	2.1W 22~100Ω	2.0W 110~510Ω								
1J	0.063W	1~100	J: ±5%						+1000~-500 (1.0~3.3Ω) ±500 (3.6~100Ω)	5,000	-					
2A	0.1W	0.2~510						60s Max.				+1000~-500 (0.2~4.3Ω) ±500 (4.7~510Ω)	5,000	4,000 ^{※1}		
2B	0.125W															
2E	0.25W															
2H	0.5W															
3A	1.0W															

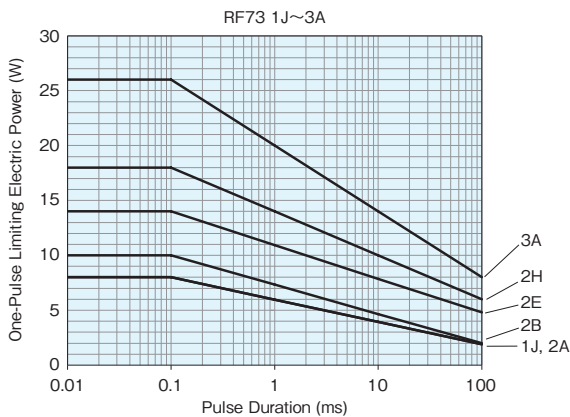
定格周囲温度：+70℃
使用温度範囲：-55℃~+125℃
※1 二次加工はTD(紙テープ4mmピッチ)が標準となります。

■負荷軽減曲線



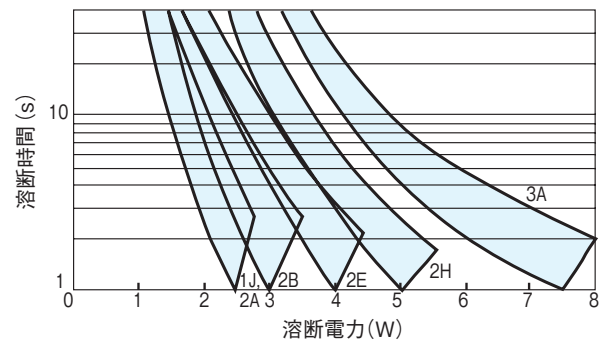
周囲温度70℃以上で使用される場合は、左図負荷軽減曲線に従って、電力を軽減してご使用ください。

■ワンパルス限界曲線



※印加可能な電圧の上限は最高過負荷電圧になります。
パルスを連続して印加する場合の耐性はお問い合わせください。
本データは参考値ですので、ご使用の際は必ず実機での確認をしてください。

■溶断特性例



■性能

試験項目	規格値 ΔR± (%+0.1Ω)		試験方法
	保証値	代表値	
抵抗値	規定の許容差内	—	25℃
抵抗温度係数	規定値内	—	+25℃/-55℃, +25℃/+125℃
過負荷 (短時間)	5	2	定格電圧×2倍を5秒印加 (2E, 2H, 3Aは1.5倍)
はんだ耐熱性	3	0.5	260℃±5℃, 10s±1s
温度急変	0.5: 2A~3A 3: 1J	0.3: 2A~3A 0.6: 1J	-55℃ (30min.) / +125℃ (30min.) 5 cycles
耐湿負荷	5	2	40℃±2℃, 90%~95%RH, 500h 1.5時間 ON/0.5時間 OFFの周期
70℃での耐久性	5	1	70℃±2℃, 1000h 1.5時間 ON/0.5時間 OFFの周期
高温放置	1	0.6	+125℃, 100h

■使用上の注意

- チップ抵抗器の基材はアルミナです。実装する基板との熱膨張係数の違いから、ヒートサイクル等の熱ストレスを繰り返し与えた場合、接合部のはんだ (はんだフィレット部) にクラックが発生する場合があります。特に2H・3Aの大型タイプの場合、熱膨張が大きく、また、自己発熱も大きいことより、周囲温度の変動が大きく繰り返される場合や、負荷のオンオフが繰り返される場合は、クラックの発生に注意が必要です。一般的なヒートサイクル試験をガラエポ基板 (FR-4) を用い、使用温度範囲の上限・下限で行った場合、1J~2Eのタイプでは、クラックは発生しにくいですが、2H・3Aタイプは、クラックが発生しやすい傾向にあります。熱ストレスによるクラックの発生は、実装されるランドの大きさ、はんだ量、実装基板の放熱性等に左右されますので、周囲温度の大きな変化や負荷のオンオフの様な使用条件が想定される場合は、十分注意して設計してください。
- 最高開回路電圧とは、電気回路においてヒューズ抵抗器が開放状態になったとき、抵抗器の両端に印加できる電圧の最大値をいい、製品形状・抵抗値によって異なり個別に定めております。最高開回路電圧は、定格電力の1,000倍に相当する電圧、または下表に示す電圧のうちの低い方の電圧と致します。機器の正常動作時・異常動作時に係らず、抵抗器の端子間に印加される電圧が最高開回路電圧以下となるようにご使用ください。

形名 (mmサイズコード)	1J (1608)	2A (2012)	2B (3216)	2E (3225)	2H (5025)	3A (6432)
最高開回路電圧	50V	50V	50V	50V	100V	100V